

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第2期） 平成19～23年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策の取組

(1) 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第2期）の概要

- ① 計画期間
平成19年度から平成23年度 5年間
- ② 温室効果ガス総排出量削減目標
平成23年度までに基準年度（平成18年度）から5.0%削減

(2) 推進体制

- ① 西脇市役所地球温暖化対策本部会議（≡部長会）
- ② 西脇市役所地球温暖化対策推進委員会（温暖化対策推進委員）
- ③ 部会（車両・工事部会、燃料部会、啓発オフィス事務部会）
- ④ エコリーダー

(3) 主な取組

- ① 節電対策の徹底（平成23年度）
 - 公共施設における不使用場所の消灯（昼休み時、トイレ等）
 - 廊下及び窓際照明の間引き・消灯
 - 空調使用の抑制
 - ・ 稼働時間の短縮
 - ・ 設定温度の徹底（冷房時28度、暖房時18度）
 - 定時退庁の推進
 - ・ ノー残業デーの追加（これまでの水曜日に加え金曜日を追加）
 - パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
- ② 照明、空調、OA機器等を順次省エネ設備へ更新
 - 照明（本庁舎、マナビータ等）
 - 空調（マナビータ、生活文化総合センター等）
 - 高効率変圧器（本庁舎）
 - OA機器（省エネ型PCに順次更新）
- ③ 緑のカーテン大作戦の実施（平成23年度）
 - 公共施設26施設37箇所を実施
- ④ 職員全員が毎月環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック
 - 取りまとめ結果から重点項目を設定し徹底（平成23年度）
 - ・ 公用車におけるエコドライブの推進
 - ・ 節電対策の徹底
- ⑤ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ
- ⑥ ノーマイカーデーの実施（毎月第1水曜日）
- ⑦ 西脇市環境基本計画の策定（平成23年度）
 - 西脇市役所地球温暖化対策実行計画の実施により市庁舎等における温室効果ガスの排出削減を推進する旨を明記
- ⑧ 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第3期）の策定（平成23年度）
 - ハード対策を重点取組として設定
- ⑨ その他本部会議、推進委員会、部会等での対策の検討及び実施 ほか

2 温室効果ガス排出状況

年度	総排出量		病院		病院以外		備考
	t-CO2	増減	t-CO2	増減	t-CO2	増減	
H18	7,275	—	2,530	—	4,745	—	基準年度
H19	8,245	13.3% ↑	3,333	31.7% ↑	4,912	3.5% ↑	
H20	8,526	17.2% ↑	3,861	52.6% ↑	4,665	-1.7% ↓	
H21	8,500	16.8% ↑	3,907	54.4% ↑	4,593	-3.2% ↓	
H22	8,468	16.4% ↑	3,904	54.3% ↑	4,564	-3.8% ↓	
H23	8,282	13.8% ↑	4,025	59.1% ↑	4,257	-10.3% ↓	
目標	6,912	-5.0% ↓	2,404	-5.0% ↓	4,508	-5.0% ↓	目標

- ・ 計画の最終年度である平成23年度の結果は、基準年度比で13.8%の増加となっており、目標である5%削減の達成には至りませんでした。
- ・ 増加の要因の一つは、市役所全体の排出量の半分近くを占める西脇病院の排出量が建て替えにより増加したことが挙げられます。
- ・ 西脇病院以外の排出量は、基準年度比で10.3%減少しました。特に平成23年度に大きく減少しており、これは、東日本大震災を受けて実施した節電対策や空調の更新等のハード対策が効果を上げたと考えられます。
- ・ 施設別にみると、空調の更新を行った施設において排出量が大きく減少しており、マナビータでは更新前と比べ約54%（約48 t）減少し、生活文化総合センターでは約44%（約44 t）減少しました。
- ・ 今後は、第3期目となる西脇市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、これまで実施し、効果を上げてきた省エネ行動の徹底を維持しつつ、更なる効果が期待できるハード対策に重点を置き、取組を推進していく必要があります。